



日本一人口の多い村 **読谷村**
よみ たん せん
 人口41,774人 (令和3年9月末)

87号 2021年9月
 定例会

議会だより

★議会に一言★



はやく
部活
したいよ

題字：喜友名 琉生
るい
 (古堅南小学校4年)

のらねこは どこから来たの？
 私たちに できることはない？

主な内容

◎一般質問.....p10

2021年(令和3年11月発行)

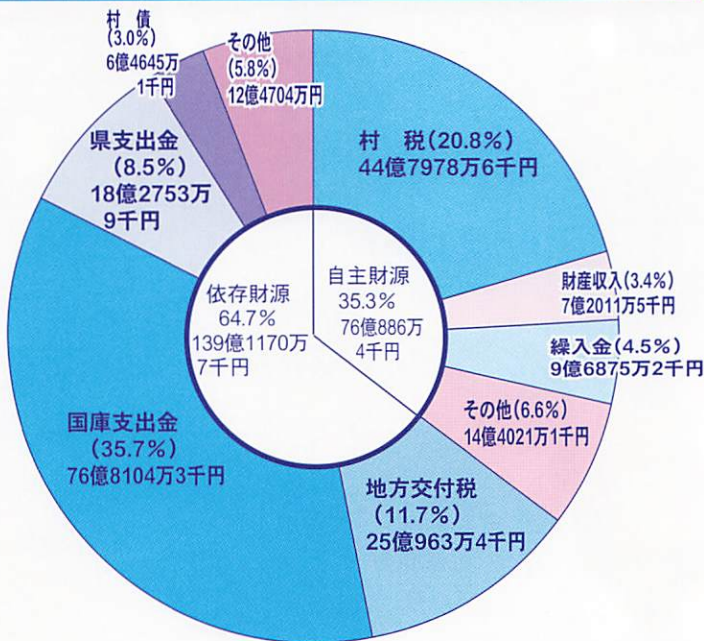
撮影:NPO法人 ねこと人と地域のいのちをつなぐ会

た！ 私たちの税金

5611円で前年度より1億3491万163円(3.1%)の増、また収入未済額は1億2922万98円で前年度比較1489万1521円(10.3%)の減で徴収率は97.2%となっている。

歳出決算については、支出済額は208億9053万864円、翌年度繰越額7億7334万2000円・不用額2億9166万6136円で執行率は95.1%(1.5%)の減となっている。

歳入(収入済額) 215億2057万1千円



普通会計とは

一般会計と村診療所特別会計を合算したもので財政力指数算出等の基本数値となる

特別会計とは

特定の事業を行うために、一般会計と分けて設置される会計

歳入

村税

村税の増額要因として個人村民税、固定資産税評価額、軽自動車税の増収による。徴収率は前年度より0.41%上回る97.4%。市町村平均や町村平均を上回る。

村民の納税意識に敬意を表します。

地方交付税

歳入構成比11.5%で国庫支出金、村税に次いで第3位を占める重要な財源。前年度より1億1747万円増。

国庫支出金

前年度より44億5620万2273円増額となっている。特別定額給付金、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金などの増による。

財産収入

財産貸付収入が増えている要因は旧読谷中学校跡地の賃貸料の増による。村有地賃貸料は6億9318万円。

自主財源と依存財源

市町村の財源は、自主財源(市町村税など自主的に収入する財源)と依存財源(地方交付税など、国又は都道府県から交付される財源)からなる。

自主財源が財源全体に占める割合は、一般会計で35.3%(普通会計全体では36.0%)となり、前年度より8.4ポイント低くなっている。依然として本村も国の予算や地方財政対策に影響を受ける構造になっている。

このように使われました

歳 出

総務費

特別定額給付金給付事業41億7051万3088円が執行され給付率は99.8%、41,527人の村民へ給付している。

民生費

新型コロナウイルス感染症の予防対策関連で緊急生活支援給付金事業他3事業、経済的支援として子育て応援一時給付金事業他2事業を行っている。

教育費

新型コロナウイルス感染症の影響を受けた村内在住高校2・3年生世代応援一時給付金事業を実施、964人へ経済支援を行った。小中学校ICT環境整備事業を実施。事業費は3億9854万7600円。図書館運営事業で電子書籍1357冊の使用料599万4848円の支出があった。

土木費

生活道路整備事業は村内4地域で実施している。公営住宅事務事業の施設修繕費357万6662円は村内3団地の修繕を行っている。

農林水産費

地産地消推進事業により給食に提供された村産野菜は13品目。

衛生費

村管理防犯灯をLEDへ取り替えた。

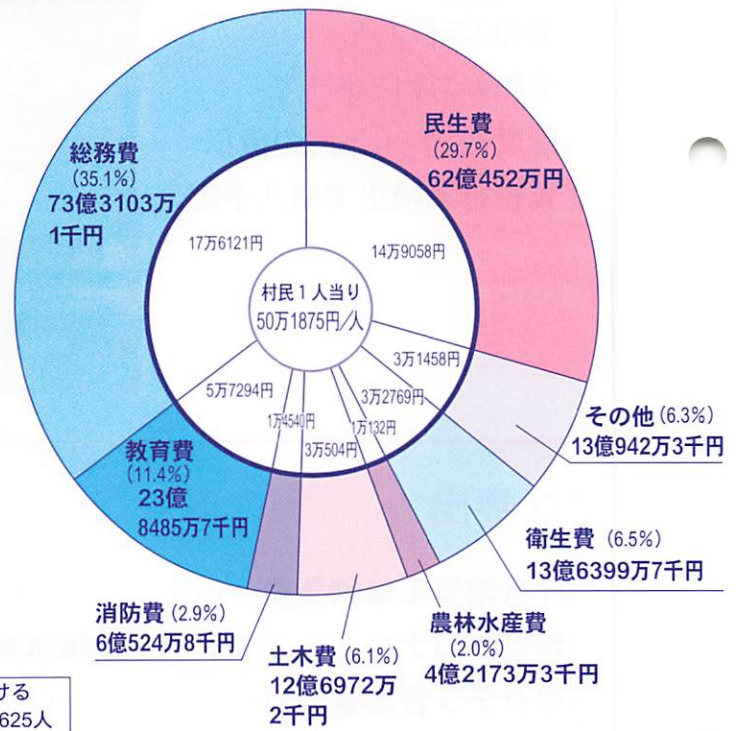
その他

観光防災強化事業4383万7600円は令和元年から3カ年をかけて災害時に避難所に備蓄及び外国語表示による誘導標識などを整備した。また備蓄倉庫を古堅中学校へ設置した。

令和2年度の歳入については、決算額は215億2057万899円である。対前年度比較では収入済額で50億2650万8199円（30.5%）の増。

村税は歳入全体の20.8%、決算額は44億7978万

歳 出 (支出済額) 208億9053万1千円



経常収支比率は財政構造の弾力性を示す。本年度の普通会計における比率は81.8%で前年度より3.1%改善している。

※経常収支比率

比率が低いほど投資的経費に充当できる。

一般的に70%~80%が適正で90%を超えると財政硬直化

令和2年度特別会計決算歳出

令和2年度読谷村診療所特別会計決算

2億8464万7556円

令和2年度読谷村国民健康保険特別会計決算

46億8919万6893円

令和2年度読谷村後期高齢者医療特別会計決算

4億6227万6710円

令和3年度 読谷村一般会計補正予算

主な歳入

◎歳入歳出予算の総額にそれぞれ10億4369万円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ165億3356万4千円とする。

- ◎給食配送車購入事業
令和3年度から
令和4年度にかけて
限度額 2000万円の債務
負担行為補正で購入予定。



主な歳出

- ◎庁舎増築工事請負費…………… 2414万6千円
- ◎新型コロナウイルスワクチン接種事業…………… 1億6389万6千円
- ◎ワクチン管理委託料…………… 3150万1千円
- ◎集団接種会場運営委託料…………… 453万5千円
- ◎観光防災強化事業…………… 2337万5千円
- ◎備品購入費…………… 1164万8千円



役場庁舎正面玄関、エントランス横にある身障者用駐車場（3台）に屋根工事をを行い利便性と安全性の向上につなげる。完成は令和4年3月予定。

令和2年度 生活道路整備事業

事業費:1000万円

各自治会や地域からの生活道路整備の要望を基に緊急性及び地域住民の同意状況を踏まえ整備の優先順位を決め、予算に応じて整備に取り組んだ。

路線箇所: 4 路線、整備延長L=209.4m
(宇座1、座喜味1、伊良皆1、古堅1)

生活道路整備工事を実施する事で、地域住民にとって快適で安全な生活環境の成果が得られた。残り46路線の要望があり、さらなる予算の増額が必要である。

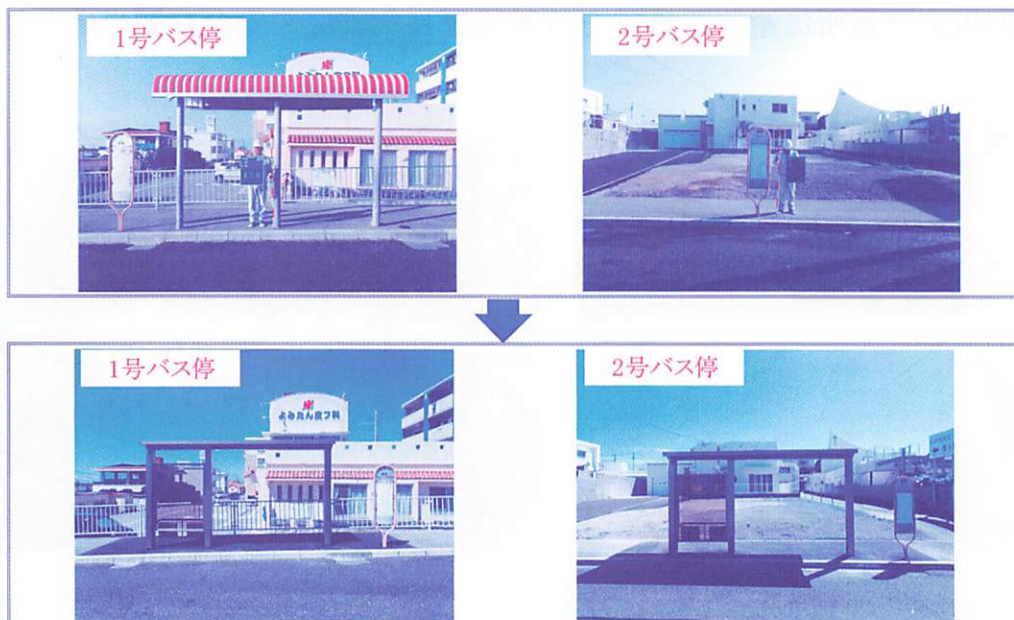


令和2年度 整備事業

村道波平～都屋線整備事業 予算:1100万4千円

令和元年度バス停上屋整備工事(繰越)で、都屋バス停上下線2ヶ所を実施した。一括交付金を活用し、強烈な日差しや風雨等を軽減し、快適にバスが待てるようにするため、整備した。

工事写真ダイジェスト版 工事名:令和元年度バス停上屋整備工事 着工前・竣工



令和2年度 感染症対策推進事務運営事業

予算:2495万7千円

村内ハイリスク者988人、医療機関26ヶ所、高齢者福祉施設22ヶ所、高齢者福祉事業所5ヶ所、障がい者施設3ヶ所、障がい者事業所22ヶ所、保育施設43ヶ所へ衛生資材を配布し、各施設事業所での感染症拡大防止に資することができた。



令和2年度 事業観光防災強化学業

予算:4383万8千円

大規模災害が発生した際の観光避難民に対する食糧、水、災害用トイレなどの備蓄及び避難誘導表示板の設置を行った。

古堅中学校敷地内に防災備蓄倉庫を1棟設置し、食料2,500食、水6,000本、経口補水液600袋、簡易トイレ5,000枚、自動ラップ式トイレ10台、毛布330枚、小型発電機10台、敷マット660枚、救急箱15箱、バルーン投光機5台、テント5張りを備蓄したほか、村内指定避難所に避難所標識を27基設置し、安心・安全な観光地とした。



意見書・抗議決議

第509回臨時会（令和3年7月29日）決議第6号・意見書第7号

◎ 渡名喜島沖において米軍普天間飛行場所属CH53E大型ヘリコプターからのコンテナ落下事故に対する抗議決議・意見書

賛成多数で可決！

件名	議決結果	議席氏名																		
		1 與那覇 徳雄	2 仲眞 朝雄	3 大城 行治	4 山内 政徳	5 上地 利枝子	6 當間 良史	7 津波古 菊江	8 城間 正勇	9 山城 昌輝	10 松田 昌邦	11 長濱 宗則	12 比嘉 幸雄	13 神谷 嘉栄	14 上地 榮	15 松田 正彦	16 伊佐 眞武	17 城間 真弓	18 國吉 雅和	19 伊波 篤篤
決議第6号・意見書第7号	可決	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○

第510回定例会（令和3年9月10日）決議第7号・意見書第8号

◎ 米軍普天間飛行場からのPFAS(ピーファス)汚染水放出に対する意見書

全会一致で可決！

米軍及び関係機関に対し厳重に抗議するとともに、下記事項について、速やかに実施するよう強く要請する

記

- 1 日米合同委員会の協議を遵守すること
- 2 PFOS（ピーフォス）、PFOA（ピーフォア）を含む泡消火剤は、焼却処理すること
- 3 泡消火剤は、PFOS、PFOAを含まない代替品に替えること
- 4 PFASの排出規制に関する基準を確立すること

第510回定例会（令和3年9月28日）意見書第9号

◎ コロナ禍による厳しい財政状況に対し地方税財源の充実を求める意見書

全会一致で可決！

国においては、令和4年度地方財政対策及び地方税制改正に向け、下記事項を確実に実現されるよう、強く要望する。

記

- 1 急速な高齢化に伴い社会保障関係費が増大している現状を踏まえ、他の地方歳出に不合理なしわ寄せがなされないよう、十分な総額を確保すること。
- 2 固定資産税は、市町村の極めて重要な基幹税であり、制度の根幹を揺るがす見直しは、断じて行わないこと。
- 3 令和3年度税制改定により講じられた自動車税・軽自動車税の環境性能割の臨時的軽減の延長について、更なる延長は断じて行わないこと。
- 4 炭素に係る税を創設又は拡充する場合には、その一部を地方税又は地方譲与税として地方に税源配分すること。

第510回定例会（令和3年9月28日）意見書第10号

◎日米地位協定の抜本的改定を求める意見書

賛成多数で可決！

平成30年7月には全国知事会において、日米地位協定の抜本的見直しを含む米軍基地負担に関する提言を全会一致で採決した経緯がある。

読谷村議会は下記事項について、速やかに実施するよう改めて要請する。

記

- 1 国においては、全国知事会の総意を重く受け止め、国内法の適用など明記した日米地位協定の抜本的な改定に取り組むこと

意見書への賛否両論



反対 比嘉幸雄

平成30年7月27日およそ2年間の議論を得て全国知事会が沖縄県など米軍基地を抱える自治体の負担を軽減するため、日米地位協定の抜本的見直しを求める提言をまとめ政府に提出しているが、今回の内容は全国知事会の提言には一切触れておらず意思の確認ができない事から反対する。

賛成 城間真弓

60年以上経過している日米地位協定の内容は、さまざまな特権が米軍人に与えられ、市民生活を圧迫し、不公平な状態になっている。これまでの米軍人の事件事故から、県民の主権、人権を取り戻すため賛成する。



第511回臨時会（令和3年10月6日）決議第8号・意見書第12号

◎米陸軍トリイ通信施設での米軍ヘリによる吊り下げ訓練に対する抗議決議・意見書

賛成多数で可決！

件名	議決結果	議席																		
		氏名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
		與那覇 徳雄	仲 眞 朝 雄	大 城 行 治	山 内 政 徳	上 地 利 枝 子	當 間 良 史	津 波 古 菊 江	城 間 勇 輝	山 城 正 輝	松 田 昌 邦	長 濱 宗 則	比 嘉 幸 雄	神 谷 嘉 栄	上 地 榮	松 田 正 彦	伊 佐 眞 武	城 間 眞 弓	國 吉 雅 和	伊 波 篤 篤
意見書第10号	可 決	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○
意見書第11号	可 決	○	×	○	×	○	×	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○
決議第8号・意見書第12号	可 決	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○

◎第510回定例会（令和3年9月28日）意見書第11号

◎「重要施設周辺及び国境離島等における土地等の利用状況の調査及び利用の規制等に関する法律」の即時廃止と臨時的対応を求める意見書 **賛成多数で可決！**

読谷村議会は下記事項について、速やかに実施するよう強く要請する。

記

- 1 重要施設周辺及び国境離島等における土地等の利用状況の調査及び利用の規制等に関する法律を即時廃止すること
- 2 すべての施行プロセスの情報公開と民意反映のためのパブリックコメントを実施すること
- 3 本法第7条による内閣総理大臣から地方自治体に対する個人情報提供の強要はしないこと

意見書への賛否両論



反対 比嘉幸雄

厳しい安全保障環境の中、具体的リスクを感じる不動産取引が報告されているにもかかわらず、我が国では不動産利用状況を調査する術を持っておらず危険な状態である。このような状態の中、外国人による不動産売買に規制をかけるものであり、国民に規制をかけるものではない

賛成 國吉雅和

同法は国家が国の安全保障の名のもとに国民が自分の土地を自由に利用する権利を制限することから意見書に賛成する。



反対 仲眞朝雄

我が国は外国資本による土地買収が野放し。安全保障や資源保全、固定資産税の徴収などの面で生じた問題に対応する法律。重要な土地を調査し、不適切な利用が判明すれば規制するもの。正当な利用は規制されない。すでに18道府県が、全国知事会と連携、条例によって事前届出を課している。そのことから必要かつ喫緊の法整備であり反対する。

賛成 城間真弓

同法は基本的人権やプライバシーを大きく侵害を助長する危険性があり、弁護士会等の反対声明もある。米軍基地を多く抱えている沖縄にとっては平和運動の抑圧につながる事から賛成する。



11月までの接種

まつだ まさひこ
松田 正彦

新型コロナ接種等状況を問う

問 年齢別の人数・接種率の速報値を問う
ア 65歳以上1回目・2回目、イ 60歳～64歳1回目・2回目、ウ 満16歳～59歳1回目・2回目

答 アの1回目7908人、89.1% 2回目7380人、83.1%。イの1回目2027人、76.2%、2回目1718人、64.6%、ウの1回目12687人、55.5%、2回目9022人、39.5%、村全体で1回目55.1%、2回目44.0%である。

問 接種会場等での副反応等の報告は

答 アナフィラキシー様症状の対応や接種後気分不良等で対応する事例があった。

問 ワクチン未接種の死亡重症者は

答 本村における新型コロナウイルス感染症での死亡は5人。

問 3回目のワクチン接種の可能性は

答 現在の所、国からの正式な文書はない。

問 12歳以上へのワクチン接種の予定は

答 9月16日より集団接種会場等での予約受付予定だったが、予約枠の空き状況から1日前倒しして、15日より予約受付する。

問 今後の接種スケジュールは

答 国からは、希望する方が11月までに1回目の接種を完了するよう指示がある。

任意PCR検査助成事業等について

問 8月31日までの検査人数を求める

答 検査総数1917件で、10月29日まで延長

問 検査総数に対し陽性者の割合は

答 1917件のうち、陽性者68件、率で3.5%

問 陽性者と感染者の違いは

答 感染者とは、ウイルスが体内に侵入して増殖することで発熱や倦怠感等の症状が出た者、陽性者とは、PCR検査をとおして粘膜にウイルスが付着していることで、陽性反応を示した者とされる。



私を守って!

ながはま むねのり
長濱 宗則

コロナ感染症対策

問 9月からの学校再開に向けて本村小中学校の取り組みは

答 登校時の検温の徹底やマスク着用の推奨、ソーシャルディスタンスの徹底、定期的な換気、黙食など感染症対策を継続し、2学期以降の行事の見直しや放課後の補習指導、登校自粛している児童・生徒への対応、タブレット端末持ち帰りの準備等を行い、学びの保障に努める。

ふるさと納税

問 2020年度の受け入れ金額が多い自治体、1位、宮崎県都城市135億2500万円、2位、北海道紋別市133億9800万円、3位北海道室蘭市125億4600万円、読谷村のふるさと納税の受け入れ状況は

答 受け入れ金額は2億6545万円、件数で6518件

問 2016年度から企業版ふるさと納税がスタートしましたが、読谷村への寄付金の実績は

答 現在まだ実績はない、地域再生計画の再認定の対象事業拡大の中で企業版ふるさと納税に繋げていきたい。

ノラ猫対策

問 八重瀬町が取り組んでいるふるさと納税でのノラ猫保護の支援ができないか

答 村では、公益法人どうぶつ基金助成を活用し、ボランティア団体と連携し、地域猫避妊手術の対策を講じている、現時点では導入は考えていない。

問 ペットとの共存社会を実現するためにペットの条例が必要ではないか

答 現時点では条例の制定予定はない。



国道バイパス道路の雑草繁茂

ひが ゆきお
比嘉 幸雄

新型コロナウイルス感染対策について

問 30代以下のワクチン接種状況は

答 接種人数が1回目5422人、2回目3595人、接種率が1回目41.5%、2回目27.3%である

問 感染者数が減少に転じているが、感染状況は収束しない状況が続くと考えられる。感染症やワクチンについての新情報は広く村民に伝える必要はないか

答 ネット・村広報・FMよみたんを活用し伝えたい。

問 デルタ株蔓延の中、各小学校・中学校での感染防止策は

答 文部科学省の「新型コロナウイルス感染症の衛生管理マニュアル」により行う。

問 ゆいまーる共生事業の現状は

答 以前のように一堂に会しての開催は厳しい。時間短縮、少人数開催、弁当を届けながらの見守り活動が主になっている。

問 コロナウイルス感染収束後の活動は

答 今議会の補正予算で、公民館で行っていた活動をラジオで月2回流し、各家で体操をしたりできる準備を進めている。感染対策として、PCR検査を出来る体制やチャージャーがじゅう教室の地域版を提案している。

車庫証明の義務付けについて

問 車庫証明の義務付けがないという事は災害時の路上駐車をどう無くすのか

答 道路の違法駐車は別の法律で規制する。

国道の雑草繁茂について

問 読中通学路国道バイパス、中央分離帯の雑草、木は早めの除草を要請してほしい

答 全体的な除草を要請していきたい。

問 国道58号は週末ともなると自転車の通行が多い。自転車は道路の端を通るので雑草が繁茂すると危険である。除草の要請は

答 村も要請はしていく。村民からも直接繁茂状況の情報提供を国道にしてほしい。



SDGsな読谷村“ちょう”舞う花と緑の循環型社会をめざそうよ!!

つは こきくえ
津波古菊江

任意PCR検査費用助成事業の進捗

問 事業内容と効果、実績は

答 陽性者や濃厚接触者と接触が疑われる場合で濃厚接触者として特定されなかった人、発熱等自覚症状のない人が対象で役場玄関前テントにて唾液検体で確認される。同事業の実績1,917件で68人の陽性者有、事業は10月29日迄延長され、希望者は人数制限なく検査可能で検査結果は翌夕方頃には判明

おくやみ窓口ご遺族支援コーナー行政サービスの設置

問 身近な方が亡くなった後のご遺族の役場での多課にわたる諸々の手続き作業をワンストップで支援する窓口コーナーの設置は出来ないか（全国でも設置自治体増加中）

答 おくやみ窓口とは死亡者の固定資産税、健康保険税、年金等の申請作成、案内を行なうサービスで支援ナビの活用を検討し、窓口案内表示については確認をしていく。

SDGsな村づくりを目指して

問 読谷村の資源ゴミ回収は年間で乾電池11t、処理費500万円、蛍光灯7t処理費120万、ガラス瓶600t処理費560万、ペットボトル230t530万、の処理費である。他にも事業は進行中だが資源ゴミの更なる有効活用で循環型社会の構築を図りたい。

①生ゴミ処理機の村内での販売は可能か

②チップ活用で腐葉土を作り家庭菜園や花づくり推進の一助は

③畜産農家からのふん尿、生ゴミ廃油活用のバイオマスタウンの構想はないか

答 ①生ゴミ処理機の村内販売を目ざす。

②チップの腐葉土化は時間がかかる。苗畑利用については関係課との調整が必要。

③バイオマスタウン構想についてはかつて試みたが、採算が厳しく、事業としては予定していない。



スケートパークの早期設備を！

とうま りょうじ
当間 良史

新型コロナウイルス感染症被害を問う

問 コロナウイルスの感染状況は

答 読谷村における陽性者の数は、7月130名、8月501名、9月12日時点で140名となっている。

問 コロナ禍が原因で閉店した事業所は

答 コロナの直接的な影響によるものかは確認できないが、閉店、閉業した業者は14件確認している。

問 感染防止策対策推進宣言の店の数と新たに対策を行いたい事業所への対応は

答 8月31日時点の対策推進宣言の店は358店舗が感染症対策資材の補助を活用している。現在は申請の受付は終了しているが、今後は商工会や観光協会と協議し、随時支援を検討したいと考えている。

ふるさと納税基金の使い道を問う

問 基金の過去の使い道と今後の使い道は

答 基金の使い道については寄附金条例に定める使い道のうち、寄附者の意向に沿った事業に活用させていただいている。

問 寄附者の意向と言うのが意向の中には「特に指定しない」寄附者も多くおり、各課案を出し合い現在手の届いていない事業へ基金を活用しては

答 基金を活用できるよう各課勉強していく。

スケートパーク設置の近況は

問 2020東京オリンピックから正式種目となったスケートボード競技において初代金メダリストをはじめ多くのメダリストを輩出しました。本村においてもパークの早期設置が必要では

答 村在住のプロスケーターと意見交換する中で、子供たちの居場所づくりとして場所の提供を考えており、パークについては予算を伴う事なので今すぐとはいかないが、村民センター地区での整備を考えている。

わけがありますくカード
福祉課にて配布中！簡単な申請書が必要ですなかま あさお
仲真 朝雄

厚労省は新型コロナウイルスのワクチン接種後の健康被害を救済しているが

問 読谷村民の該当は

答 ない

問 被害申請の手順は

答 市町村に必要書類を提出→市町村で予防接種健康被害調査委員会を開く→県に進達→県から厚労省→疾病・障害認定審査会に諮問。認定されると支給される。

急増する陽性者

問 要因は

答 7月130名、8月501名、9月12日時点で、140名。デルタ株の影響と推測。

問 検査総数は

答 県の管轄のため詳細は把握してない。

問 ワクチン接種済みの陽性者は

答 県からの情報に含まれていない。

児童生徒の感染状況

問 陽性者数と感染者数

答 陽性者数は77人 感染者数は50人。

問 濃厚接触者認定数と感染確認された人数

答 濃厚接触者認定数 62人

感染確認者数 25人

※入院、重症化のケースはない。

感覚過敏、発達障害などでマスクの着用が適さない方への配慮は

答 周りの方々へ状況を理解してもらうため、バッジ、カードをつけて意思表示ができる。福祉課にて『マスクを付けられません』カードを必要な方へ配布中。

役場庁舎内 障がい者用駐車場屋根増改築工事の進捗状況は

答 本会議において補正予算を計上。諸手続き後、着工の運び。令和4年3月完了予定。



むら咲むらビジターセンター(指定管理)

くによし まさかず
國吉 雅和

10月中旬で希望する人の7割接種を目ざし、11月末まで接種を継続する

問 ワクチン接種状況は(9月15日現在)

答 65歳以上の2回目接種率は83.1%

全体の2回目接種率は44.0%

子どもたちに接する職場の2回目接種率

7 小中学校職員 78.4%

5 公立幼稚園職員 69.0%

13公立認可保育園職員 73.9%

7 学童クラブ職員 63.2%

問 自宅療養者や濃厚接触者への支援は

答 親族や知人等からの支援をうけられない方へ日用品の提供と健康相談を実施。

問 「学校PCR支援チーム」の取り組みは

答 検査人数607人(17回)で陽性者は0人

読谷西部土地改良地区(高志保)について

問 さとうきび畑歌碑東地域は建築基準法の特別許可(第43条但し書き)を必要とする理由は

答 当該地域の村道3路線は「建築基準法上の道路」としてみなされず、離接する農道使用承諾による特別許可となっている。

問 特別許可を要しない手法に改めるには

答 未整備区間の整備を行った上で、村道認定により特別許可は必要なくなる。

10基の防犯灯設置と農道改良舗装工事は年内の予定

指定管理施設で収入が発生する施設は34施設中31施設である

問 コロナ禍で収入減になっている主な指定管理施設は

答 いこいの広場・むら咲むらビジターセンター・ビーチ2施設・地域振興センター・健康増進センターである。そのうち村診療所へ1,200万円と健康増進センターへ2,600万円の指定管理料を支払う。

しろま まゆみ
城間 真弓

長引く新型コロナウイルスの状況下において、子どもたちが受ける影響と、村民へのサポートや補償とは

問 一年半もの間、習慣化されたマスク生活により子ども達の間でも苦しくとも苦しいと言えない状況に追い込まれ、マスク着用による体調不良も多い。対応は

答 子ども達には苦しい時はマスクを外してもいいという声かけの徹底や、家庭でのご指導もおおいでいきたい。

問 コロナの陽性者、または濃厚接触者で長期に渡り休みを強いられた保護者の経済的補償や、食料を届けるなど生活支援のサポート体制とは

答 現在、村の取り組みの中に金銭的な支援はないが、社会福祉協議会のフードバンクにて、生活物資提供を行っている。

新型コロナウイルスやコロナワクチンについて、健康と一人ひとりの尊厳を守る立場で問う

問 厚生労働省が報告しているワクチン接種後直近の死亡数と重症報告件数は

答 8月22日時点の死亡報告として、ファイザー社ワクチン1,076件、モデルナ社ワクチン17件。アナフィラキシー疑いは合わせて2,571件となっている。

【提起】 ◎コロナワクチンの副反応について透明性のある情報の開示や、接種会場でより丁寧な説明を

◎日本の将来を担う子どもや若者の接種は中・長期的な安全性が確立するまで慎重に

◎ワクチン接種の有無において、一人ひとり尊厳が守られる差別のない村づくりを

村道中央残波線から県道6号線に向けての視覚障害者誘導用ブロックが草で覆われており、当事者の方々が歩くには危険である

答 除草作業の回数を増やせるよう検討する。



牧原公園（牧原自治会、旧牧原
区出身戦没者慰霊碑建立予定地）



しろま いさむ
城間 勇

大雨時の冠水対策について

問 6月14日と6月29日、伊良皆、大湾排水路が氾濫して村道大湾1号線が約200M冠水し、周辺の事業所や事務所等に浸水被害があった。対応策について

答 めがね橋の撤去および改修工事を予定。

牧原自治会の要請について

問 牧原公園内に慰霊碑建立が可能か

答 街区公園のため県との調整が必要だが平和学習の一環として可能だと思う。

問 ノーベル平和賞を夢みる村民基金収益金事業に応募して活用する事もできるか

答 既存制度の活用を検討していきたい。上限は100万円である。

問 牧原自治会長と牧原自治会有志の皆様からの要請の内容と村の対応について

答 嘉手納弾薬庫内のチチェンヌ御嶽前のフェンスを御嶽の後方への移設を求める内容。村長及び関係者で沖縄防衛局に出向き、要請書を提出している。

問 ゴルフ場向けの牧原多目的広場の整備に向けての進捗状況について

答 ゴルフ場開発に伴う里道付け替えにより広場予定地を確保することになっているが虎地原線との兼ね合いもあり、現時点では整備の時期は未定。

道路の舗装整備について

問 マックスバリュー読谷店の後方古堅754番地から古堅735番地2の間の道路が未舗装で車両が通行するたびに土埃が舞い上がり、雨天時には水が溜まり地域の方々から舗装整備の声がある

答 渡具知自治会から要請を受け現地調査を行っている。渡具知自治会長と連携しながら周辺の個人有地を活用した排水整備ができないか調査検討している。



楚辺浄化センター



うえち さかえ
上地 榮

ワクチン接種に伴うアレルギー反応等があったか。また、自宅療養者の数は

答 アナフィラキシー症状を含む6人の方にアレルギー反応があったが大事には至らなかった。自宅療養者数は65名

トリイ通信施設におけるハーベスター等の運用の目的と今後は

答 目的はトリイ通信施設における農業支援である。今後は楚辺農水組合とも連携を図り進めていく。具体的には製糖開始に波平地区の機種をトリイ通信施設へ、その後受益地区終了後トリイ通信施設へ新機種を移動させる。将来オペレーターが育成されると楚辺農水組合の借受けも可能となる。

楚辺浄化センターの過去、現在、未来

答 同センターは平成8年度に供用を開始して平成14年度に大添地区が追加されている。現在は1日最大1600m³の処理で、利用人口が3,581人、接続率は84.5%。

問 同センターの増設について、第478回定例会で臭気対策や処理槽の配置など検討するとの答弁があったがどうなっているか

答 基本設計等がなされておらず、具体的な検討はしていない。

本村の将来人口と人口密度は、また楚辺の人口密度（トリイ通信施設を除く）は

答 本村の将来人口は2045年まで増加して約45,600人をピークに減少する。本村の人口密度は1,169人（1km²）で県内14位である。楚辺は3,070人（1km²）となっている。

農振農用地域にある土地の宅地化

問 当該地は住宅地に隣接し、換地処分されてから27年が経過して原野化しており農業委員会も宅地化に賛成している

答 関係団体の意見を聞いて検討する。



国際障害者年(1981年)に建碑

かみや かえい
神谷 嘉栄

新型コロナウイルス感染症関連

問 村内の陽性者の人数を年代別で求める

答 8月中の陽性者数501名中、10歳未満61名、10代66、20代109、30代92、40代71、50代50、60代29、70代13、80代2、90歳以上7名、年代確認中が1名。

問 全体のワクチン接種率と2回目を終了した65歳以上と64歳以下の接種率を求める

答 全体の接種率は9月15日時点で1回目55.1%、2回目44.0%。また65歳以上(対象者8,879人)83.1%、64歳以下12歳(対象者26,967人)では42.1%。

問 接種率が70%を超える時期は

答 人口の70%を超えるのは、10月中の見込み。

本格的スケートボード場を望む

問 中央駐車場の一角でスケートボードの光景が見受けられるが設置の理由を求める

答 令和2年11月に村内企業からスロープ台の寄贈を受けて中央駐車場一区画に仮設スケートボード場を設置して居場所を提供。

屋内運動場の施設整備に向けて

問 今後予定している実施設計において特にどのような種目をメインにしていくのか

答 さまざまな利用を想定しており、フットサル、グランドゴルフ、レクリエーション、スポーツコンベンション事業等を予定している。

【提言】屋内運動場へ組み立て移動式でのスケートボード場設置の検討を求める。

東京パラリンピック聖火への採火式

問 採火式に至る背景並びに経緯を問う

答 「東京2020パラリンピック聖火リレー沖縄県実行委員会」が立ち上げられ14市町村で採火式を実施、2市町はコロナ影響で中止。

【提言】渡慶次小学校には「沖縄障害児教育発祥校」碑がある。そこに謳われるように明治時代、校長室へ聴覚障がい等の児童達を集わせ、校長自ら教えたという歴史を機会あるごとに村内外へ発信することを検討すべき。

車が擦った跡と思われる急な坂道・対策を！

やましろう せい きち
山城 正輝

コロナ収束⇒ワクチン・検査・支援を！

問 ワクチン配分法が疑問視されているが、予定通りいっているか

答 約8割、52,260回分が示されている。

常設専用ゲートボール場⇒協会と対話を！

問 ゲートボール場設置の進捗はどうなっているか

答 これまでの計画では、屋外ステージ北のテニスコートが移転したあとに設置する予定。令和12年頃になる。

問 遅すぎる。健康増進センター東、セーラ公園内等に早急に設置すべきではないか

答 屋内ドーム、陸上競技場周辺等でできないか。今年度まちづくり計画の中で協会と話し合ってみたい。

セーラ公園街灯設置⇒優先順位で検討！

問 公園利用者が多くなってきた。街灯新設修繕、駐車場拡大の要望があるかどうか

答 新設は検討し、修繕は予算計上する。

座喜味急勾配道路対策⇒地域の声受ける！

問 座喜味地内に旧勾配の生活道路が20本程ある。次の5路線は、早急に勾配修正、すべり止め、ミラー、標識、看板設置が必要と考えるがどうか。①161番地比嘉氏前②190番地宇座氏前③372番地照屋氏前④385番地島袋氏前⑤427番地諸喜田氏前

答 座喜味城跡を頂点として坂道が多い。修復策等については、自治会長と連携し、周辺地権者の意見も聞きながら対策を調査していく。

座喜味生活道路地すべり対策⇒工法決定へ！

問 座喜味地内公民館西(307番地當山氏東)の生活道路地すべり対策を早急に実施すべきこと

答 法面部は、個人有地になっており、自治会とも連携しながら、土地所有者に対して状況説明を行い、方法等を検討したい。



ふるさと納税

おおしろ ゆきはる
大城 行治

問 読谷村における新型コロナウイルス感染症対策について

答 8月の陽性者総数は501名である。ワクチン接種率については、2回目接種が44%である。11月中旬までには接種対象者が接種できるよう取り組む。「よみペイ」は引き続き地域通貨として利用できる。今後、GOTO読谷クーポン発行事業等、地域経済の活性化の取り組みも推進していきたい。関連機関とさらに協議しながら現状把握と問題解決に向けた取り組みも検討したい。

【提言】9月20日現在の接種率は県平均を上回っている。しかし、村民の中には接種に対して不安を感じている方もいる。丁寧に説明し、理解と協力を得て多くの村民が接種を受けられるよう頑張りたい。

問 「ふるさと納税」について

答 令和2年度は2億6千545万円余りで順調に伸びている。寄付者の希望する事業を展開し活用していきたい。又企業版ふるさと納税制度にも積極的に取り組みたいと考えている。

【提言】令和2年度、本村のふるさと納税額は県内でも12番目に多い。今後も企業版ふるさと納税と合わせて積極的に取り組むよう要望する。

問 「読谷村ノーベル平和賞を夢見る基金」について

答 令和2年度までの実績は261件の助成に1億2千173万円の助成金が充てられている。この事業は読谷村の村づくりにおいて大きな成果をもたらしていると考えている。今後も工夫を凝らして継続していきたい。若者やNPO法人等においてもこの基金を活用して様々な課題解決のためにチャレンジしていただきたい。



宇座海岸の石切場

よなは のりお
與那覇徳雄

健康増進センターについて

問 令和2年・3年4月～8月迄の利用者及び収入状況は2年度利用者△63%収入△67%、3年度利用者△50%収入△47%、大幅な減少で3年度収支は赤字決算になるが

答 緊急事態宣言が長引く中で、厳しい状況で運営されていることは理解している。

問 国・県から給付金等の見込みは

答 令和2年度は国・県から給付金・協力金等を受給、3年度は見込めていない。

問 県は指定管理者が運営する公共施設は、協力金の対象にならないとあり市町村の公の施設は、市町村が補うものと思われる。村として支援金を支給すべきと考えるが

答 今年は、情報交換しながら収益を上げる方法を一緒に考えることになる。

問 健康増進センターへの支援金や協議会設置等、担当部署に指示する考えは

村長 指定管理者と行政がパートナーシップをもって対応していきたい。

青少年センターの学習支援はどのように実施しているか

答 通所児童生徒の学級担任等と連携し教材等を活用して個に応じた学習支援を実施している。

問 児童生徒理解・支援シートはどのように活用し取り組んでいるか

答 組織的・計画的に支援を行うことを目的とし、個に応じた支援を行っている。文部科学省の様式は使用していない。

村文化財指定を検討している戦争遺跡は

答 具体的に検討している戦争遺跡はない

問 シムクガマの村文化財指定の考えは

答 懸念される課題が多い。崩落等の危険性等、調査を実施していない。

問 宇座海岸石切り場群を村指定文化財に

答 那覇市、浦添市に石切り場跡があり、調査し調整する。

女子トイレに
生理用品設置を！



うえち りえ こ
上地利枝子

生理用品無料配布ができないか

問 小学校、中学校の女子トイレに生理用品箱を設置できないか

答 現時点で一校のみ設置している。保健室で対応しながら、財源が伴うことなので、検討していきたい。

コロナ陽性者の現状と村としての支援体制

問 陽性者の状況と主な感染経路

答 これまでの感染者数1077人。966人が入院勧告解除。20代から30代にかけ感染者が多い。家庭内感染が最も多く自宅療養者65名

問 感染者、陽性者、濃厚接触者に対する村としての支援は

答 親族や知人などからの支援を受けることが難しい方への、食料や日用品の物資提供と健康相談を実施している

問 療養期間中収入のない家庭への経済支援の考えはあるか

答 国、県の事業があるので、収入がない方々へは、支援の紹介をしている。

地域福祉の推進について

問 重層的支援体制整備事業の進捗状況

答 利用しやすい福祉基盤づくり、中圏域での相談体制の整備を位置づけ、国の示す高齢障がい、子ども、生活困窮の各分野が体制を構築し、令和3～4年度実施に向け検討する。

問 包括支援体制の構築

答 相談者の課題を整理し、各種機関と連携を図りながら支援を行っていく。

問 社会参加支援についてはどのように取り組んでいくのか

答 地域とのつながりを作るため、居場所や役割などを確保することが大切。現状を精査し、課題やニーズを丁寧に把握することから取り組んでいきたい。

問 地域支え委員会と行政区活動との関係性

答 日頃からの見守りや声かけができる関係づくり、緊急時の安否確認等取り組んでいる。



暫定道路伊良皆波平線



いさ しんぶ
伊佐 眞武

新型コロナウイルス感染症対策について

問 ワクチン接種の効果が出る2回目の接種率は全世代で何%になっているのか

答 9月20日時点で47.97%

問 1日平均の接種率は0.63%ということから、11月末までに70%の目標達成は見込まれるのか

答 目標に届く見込みはあるが、ワクチン接種を希望する方でまだ予約されてない方への周知が課題となっている。

問 庁舎入口で実施している無料PCR検査の事業内容はどの様なものか

答 無料の任意PCR検査は、職場や家庭等において陽性者や濃厚接触者と何らかの接触が疑われる場合や発熱、咳などの自覚症状がない方を対象としており、自家用車や自宅等で唾液による検体採取を行う。検査結果は検体提出後翌日の午後6時頃までに本人宛メールまたは電話で通知。

トリイ通信施設内の遺跡発掘調査について

問 遺跡の特徴はどういうものか

答 800～900年前のグスク時代初期の頃と3000年前の縄文時代終わり頃の集落跡が確認されている。

問 保存と活用のあり方はどうなるのか

答 可能な限り現地保存し、発掘調査の成果は、報告書を通じて村民に公開され、出土品とともに地域学習や学術研究に活用される。

暫定道路、村道伊良皆波平線について

問 伊良皆西線との交差点が急カーブと隣接し、雑草の繁茂で見通しが悪い状況である。対策として雑草が生えないようにコンクリートで被覆してはどうか

答 現場を確認し、検討したい。



牧原公民館

やまうち まさのり
山内 政徳

新型コロナウイルスワクチン接種の状況と今後のスケジュールについて

問 現在の年代別接種率は。また課題はあるか

答 全世代の接種率は1回目55.1%、2回目が44.0%となっている。

高齢者接種率は1回目89.1%、2回目83.1%
65歳以下の接種率は1回目54.6%、2回目39.8%。

問 何か課題はあるか

答 11月までに2回目のワクチン接種が完了するため接種が推進できるよう情報発信に努めていく。

子宮頸ガンのワクチン情報周知について

問 子宮頸ガンのワクチン接種率はいくらか

答 令和2年度の接種件数は7件。

問 接種対象者にリーフレットを郵送して周知すべきと思うか

答 高校1年生に相当する年齢の女子に対して、個別ハガキを送付してお知らせしている。子宮頸ガン予防ワクチンに関するリーフレットは村ホームページに掲載している。

牧原慰霊碑建立要請について

問 自治会からの要請の内容は今後慰霊碑の建立に向け村からの支援をいただきたいの事。村の検討の課題は

答 各自治会の慰霊碑建立の経緯を踏まえ支援を検討していきたいと考えている。

村内の無料塾は

問 コロナ禍の中どうなっているか、村からの支援はあるのか

答 令和3年度に入り新規に入塾申し込みをした方が8月時点で43人。また昨年からは新型コロナウイルス感染症対策として、パソコンとモバイルルーターを購入し、オンラインでの学習環境を整えている。読谷村は無料塾への支援は行っていない。



豪雨時の末端対応の強化を！

まつだ まさくに
松田 昌邦

新型コロナウイルス感染症対策は

問 マスク着用困難者への対応は

答 2歳未満は窒息や熱中症のリスクがある事から推奨していない。2歳以上10歳未満の子についても無理な着用はさせない。幼稚園生等はイラスト等を活用しながら指導を行っている。認知症の方々には丁寧に着用の意義を根気よく説明している。発達障害や感覚過敏からくる着用困難な方へは「マスクをつけられません」バッジやカードを配っている。現在までに福祉課で30枚配布している。児童生徒は授業中の息苦しさや体調が優れないときはマスクを外し呼吸を整えることも良いと伝えている。

問 ウィズコロナの検討が必要では

答 医療提供体制の確保、感染防止策の徹底、ワクチン接種の推進による対策に取り組む。

問 感染者の自宅療養者について

答 9月15日時点で65名、村内の最大療養者は8月31日100名である。

地方分権改革について

答 計画費用は原則一般財源で賄うが必要な自治体計画作成は必要と考えており、大きな課題等に対する支援としては、特別交付税等の財政措置を講ずる事もある。令和3年度の自治体計画を前提とする補助事業数は3事業となっている。

豪雨時の宇座地域遊水地及び沈砂池の対策は

答 平成29年度策定の雨水排水全体計画において本地域は長期計画に位置づけされており既存施設の定期的な排水路等の清掃や沈砂池の浚渫による維持管理に努め今年度における県営瀬名波地区土地改良事業の実施設計協議の中で同地域へ影響が無いよう調整を行いたい。上流域の切替工事は考えていない。

陳情第3号

コロナ禍のもとで子どもたちおよび女性の健康と学習権を守るため、学校等公的施設のトイレに生理用品を配備し、その予算化を求める要請

要請事項

- 1、女性・子どもたちが安心して学習ができ、衛生的な生活が保障されるように、学校等公的施設のトイレの個室に返却不要の生理用品を配備すること。また必要な予算措置を行う事。
- 2、必要な子どもたちに 生理用ショーツの配布を行うこと。あわせて、生理をはじめ心や体の悩みを気兼ねなく相談できる環境を整備すること。

全会一致で採択！

陳情第4号

公営住宅の入居に保証人を不要とする条例改正等を求める陳情書

沖縄県司法書士会より要請

- 1、公営住宅の入居に際して保証人を不要とすること
- 2、緊急連絡先となってくれる人がいない場合には、社会福祉協議会、地域包括支援センター、介護サービス事業者、障害者地域生活支援センター、障害福祉サービス事業所居住支援法人等、それらの支援団体を緊急連絡先に代替させること

全会一致で採択！

伊波篤議長が全国町村議会議長会役員に選出されました

本村議会の伊波篤議長が令和3年7月6日に東京で開催された全国町村議会議長会の臨時総会において理事に選出されました。任期は2年間です。



はいさい！ヨミタンチュ！アピールコーナー

「のらねこは しあわせなの？ さくらねこを知っていますか？」

NPO法人 ねこと人と地域のいのちをつなぐ会 / Community Cat Care Okinawa (通称: CCC)

「ねこが」ミをあさるんです
 「ねこに糞をされ困っています」
 「けんかが絶えず、うるさい」
 「ねこが仔猫を産んじゃって…」
 ねこの問題は、住民、地域の
 問題でもあります。野良猫は、
 どこからきたのでしょうか。猫を
 捨てなければ、野良猫は増えま
 せん。不妊・去勢手術をしなけ
 れば、仔猫が生まれ、あつとい
 う間に増えてしまいます。
 読谷村に限らず、沖縄県は野
 良猫の数が大変多く、年間に約
 600頭が殺処分されている
 ことをご存知でしょうか。
 私たちNPO法人CCCは、
 地域の小さな命が、不幸な命に
 ならないように、殺処分ゼロを
 目指して、2020年、NPO
 法人を立ち上げ、読谷村内で活
 動を始めました。それまでは、
 個人個人がコツコツと取り組
 んでいましたが、法人化したこ
 とで、より多くの力が集まり、
 活動の幅を広げることができ



◀ TNRを実施した猫たち

ています。それでもメンバーは
 全員ボランティアです。できる
 ことには限りがあります。
 どうにか、私たちと一緒に考え、
 「ねこと人と地域のしあわせ」を
 繋いでいきませんか。お気軽に
 ご参加、ご教示いただけると、
 読谷村の野良猫問題は、いい方
 向に進むと信じております。

【主な活動内容】

● TNRとは飼い主のいない猫を
 Trap / 捕獲して
 Neuter / 不妊手術をして
 Return / 元の場所へ戻すこと。
 手術後は、一代限りの命を給餌
 しながら見守っていきます。公
 益財団法人どうぶつ基金が発行
 する「さくらねこTNR無料不
 妊手術チケット」を利用してい
 ます。

● 猫の保護、および里親探し
 不妊手術を受けられない仔猫や、
 病気・ケガでやむを得ず元の場
 所に戻せない猫を保護し、医療
 につなげ、里親探しをしています。
 ● 相談会・TNR説明会を開催
 今年度村内5カ所の公民館で
 開催します。詳しくはお問い合
 わせを。



お問い合わせ先

電話: 050-3177-2211

(担当: 伊波)

HP: <https://npo-ccc.okinawa/>

フェイスブック: Community

Cat Care Okinawa

インスタグラム: ccc.okinawa

LINE: npo-ccc

りっかりっか読谷村議会

9月定例会での傍聴者は、延べ43名でした。

令和3年12月定例議会は12月7日(火)開会予定。

議会の日程についてホームページでお知らせしております

読谷村公式ホームページアドレス

<http://www.yomitan.jp>

(お問い合わせ)

議会事務局 TEL 098-982-9225